

# 鹿児島市「生涯活躍のまち」構想・基本計画（概要）

## 「生涯活躍のまち」

・東京圏をはじめとする地域の中高齢者等が希望に応じ、地方やまちなかに移り住み、多世代の地域住民と交流しながら健康でアクティブな生活を送るとともに、医療、介護が必要な時には継続的なケアを受けることができるような地域づくりの実現・普及を目指すもの。

（期待される効果）

- ①人口減少問題の改善、②消費需要の喚起、③雇用の維持・創出、④多世代との協働を通じた地域の活性化 など

## ③立地環境

立地適正化計画における「居住誘導区域」を対象に設置する「まちなか型」

国は、立地について、都市部の「まちなか型」と、「田園地域型」の2つに分類。

## ④居住環境

「タウン型」「エリア型」どちらの選択も可能

国は、地域的な広がりについて、地域資源を一体的・総合的に活用する「タウン型」と一定の地域を集中的に整備する「エリア型」という2つのタイプに分類。

## 1. 基本コンセプト 「健“高”医“良”都市・かごしま」

- ①移住される中高年齢者等が、多様な主体・世代として地域住民等と一体的な交流の促進を図り、地域社会に溶け込みながら、生き生きと輝くことができるコミュニティの形成を実現する。
- ②良好な医療・介護サービスを受けるための基盤となる「医療・福祉業」等の活性化による雇用を創出する。

※大都市圏からの移住を促進するため、豊かな自然と適度な利便性を合わせ持つバランスのとれた本市の地域特性を生かす。

## (3) サービスの提供

本市の地域特性を生かした特徴あるプログラムを事業主体が提供

## (4) 事業運営

事業主体が自立し、持続可能な事業運営を展開

## 2. 具体像

・基本コンセプトの実現に向けて、4つの観点から具体化する。

### (1) 入居者

- ①年齢 50代以上を中心（幅広い年齢構成についても想定）
- ②住み替えの形態 主たる対象は、大都市圏からの移住者を対象とする「広域移住型」

国は、入居者の住み替えの形態について、東京など大都市圏から地方へといった広域的移動を伴う移住者とする「広域移住型」と市域内や市域外の近隣地域からの転居者とする「近隣転居型」の2つに分類。

- ③所得、属性 入居者の所得に制限は設けず、幅広い対象者を想定

### (2) 立地・居住環境

- ①地域社会との交流・協働  
地域住民や多世代が交流できる「地域交流拠点」を事業主体が整備
- ②生活全般のコーディネート  
運営を総合的に調整する「コーディネーター」を事業主体が配置

## 3. 計画期間及びスケジュール

・6年間（平成28年度～33年度）

	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
構想策定	構想の策定					
基本計画策定	基本計画の策定					
事業計画策定		周知 広報	公募 選定	(必要に応じ)公募・選定		
事業推進			事業計画の策定	事業推進の準備・事業推進		

## 4. 計画目標

・今後、事業主体からの提案も踏まえ、重要業績評価指標（KPI）を追加（事業の具体化に伴い、入居者の満足率や社会活動への参加率等の追加を想定）

指標	基準値 (H27)	目標値 (H33)
本市への移住相談件数	29件/年	100件/年

## 5. 事業主体をはじめとする役割分担

・事業実施にあたっては、移住者や地元住民等の意見も聞きながら、国、市、事業主体が適切に役割分担を行うとともに、それぞれが連携し取り組む。

役割分担のイメージ図

